

発熱などの症状があったら まずは **かかりつけ医** に相談を

発熱や喉の痛み、せきなど気になる症状のある人は、かかりつけ医へ相談してください。かかりつけ医のない人やどこを受診したらいいかわからない人は、下記を参考に相談してください。



発熱などの症状がある

かかりつけ医がない
どこを受診したらいいかわからない

かかりつけ医や
近所に医療機関がある

下記窓口へ相談してください

- 市受診・相談センター (☎ 381-6112)
月～金曜日 午前8時30分～午後5時15分
- 県受診・相談センター (☎ 0570-082-820)
月～金曜日 午後5時15分～翌午前8時30分
土・日曜日、祝日 24時間
- 発熱者外来予約専用電話 (☎ 381-6000)
土・日曜日、祝日 午前9時30分～正午

かかりつけ医か近所の医療機関へ相談してください

診療できる場合は、その医療機関で行います

対応できない場合

診療できる医療機関を案内

感染予防のポイント

- 手を洗うときはせっけんを使い、指先や指の間、手首など洗い残しのないよう、30秒以上かけてしっかり洗う。手洗いができないときは消毒用エタノールで手指消毒をする
- マスクは鼻から顎までしっかりと覆い、隙間ができないように着ける
- こまめに部屋の換気をする
- 体調が悪いときは外出せず、医療機関を受診する
- 大人数や長時間の食事、飲酒を伴う会食、マスクなしでの会話など感染のリスクが高まる場面をできる限り避ける



市内の飲食店にマスクや手指消毒用エタノールの配布などを行ってききましたが、感染拡大を防止するためには、市民の皆さん一人一人の協力が欠かせません。新型コロナウイルスは、誰でも感染する可能

性があります。左記の感染予防のポイントを参考に、一人一人が予防を徹底してください。
新型コロナウイルスに関する市の特設サイト



新型コロナウイルス感染拡大を乗り切る 安心できる医療体制の確保と 感染予防のお願い

全国で新型コロナウイルスの感染者が増えてい
ます。市は、安心して医療や検査が受けられる体制
を確保し、医療体制のさらなる強化に努めていま
す。
今回号では、医療機関を支援する市の取り組みと、
感染予防の対策などについてお知らせします。
問い合わせは、保健医療総務課 (☎ 381-
6111) へ。

全国的に感染者が増加して
いる新型コロナウイルス感染
症。市内でも10月以降、感染
者が増えていきます。

市と医療機関が連携 医療体制をさらに強化

市はこれまで、医療機関な
どにマスク・消毒用エタノ
ールを配布したり、関係機関と
研修会を実施したりしてきま
した。また5月からは、高崎
市医師会などと連携し、発熱
者受診相談センターを設置。
市内の状況などを踏まえなが
ら、安心して医療を受けられ
る体制を整えてきました。

さらに市は、感染症対策に
積極的に取り組んでいる市内
の協力医療機関への支援を強
化しています。医師や看護師
らの人件費やPCR検査機器

の導入費などを補助。こうし
た連携により、入院が必要
な患者の受け入れ病床数が大
幅に増加した他、発熱者の対
応ができる病院・診療所は約
100か所、PCR検査を受け
られる病院・診療所は約
150か所になりました。

「熱があるけど、お医者さ
んに診てもらえるのかしら
…」もし感染したら治療や
入院はどうなるのか…」と
いった医療への不安をなく
し、市民の皆さんが安心して
受診できるよう、医療検査体
制の強化への支援を継続して
いきます。

一人一人が感染予防の徹底を
主な感染経路として、県外
への移動や密な状況での飲食
などが挙げられます。市は、